

第52回 東海循環器画像研究会

謹啓 時下、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
東海循環器画像研究会では、第52回研究会を下記の要領にて開催いたします。つきましては
ご多忙と存じますがお誘い合わせの上、ご出席下さいます様ご案内申し上げます。
詳しくはWeb参照 : <http://toujunken.umin.jp/>

謹白
東海循環器画像研究会 会長 永田 敬章

日時 令和2年 1月18日 (土) 14:00~17:00 (13:30~受付)

会場 名古屋大学医学部 基礎医学研究棟3階 第1講義室

参加費 500円

**線量情報管理システム
メーカー、ユーザーの立場から**

線量情報管理システムは何を使ってる？

スケジュール アンギオ領域の医療施行規則改定に向けた対策

14:00 ~ 15:00

「法令改正により必要となる血管撮影領域の線量管理」

講師 順天堂大学保健医療学部 診療放射線学科 前任准教授
坂本 肇 先生

15:10 ~ 16:10

◎メーカー講演「線量情報管理システムの紹介」

1. 「Dose Watch」：GEヘルスケア・ジャパン株式会社
2. 「DoseXross」：キャノンメディカルシステムズ株式会社
3. 「teamply」：シーメンスヘルスケア株式会社
4. 「Dose Aware」「DoseWise Portal」：株式会社フィリップス・ジャパン

16:20 ~ 17:00

◎施設発表

1. 「DOSE MANAGER」ユーザー：「線量情報管理サーバー導入から
実運用に向けた取り組み」
医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院 放射線技術科 角 英典 氏
2. 「Radimetrics」ユーザー：「血管撮影領域における線量記録と管理の実践」
愛知医科大学病院 中央放射線部 大澤 充晴 氏

共催：東海循環器画像研究会/GEヘルスケア・ジャパン株式会社/キャノンメディカルシステムズ株式会社
/シーメンスヘルスケア株式会社/株式会社フィリップス・ジャパン/富士フィルムメディカル株式会社 (昇順)

本研究会は、日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構および日本救急撮影技師認定機構
の認定団体です。出席には認定単位 1 (日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構) と
2 (日本救急撮影技師認定機構) が認められます。